



埼玉県舞踊協会
NO.24

埼玉県舞踊協会ニュース

Saitama Dance Association

発行所：埼玉県舞踊協会
発行者：津田 郁子
埼玉県さいたま市浦和区東仲町 1-16 鳥昇ビル 3F
TEL:048-882-7530 FAX:048-882-7549

「生き生きと舞う心」

埼玉県舞踊協会会長 津田郁子

最近、生きていく元気が無くなるような出来事が続いている。以前は静かだった住宅街も、再開発が良いのですが、ひたひたりや、暴力事件が起き、利益のために法の網の目をかいくぐる企業の不始末や、家庭内暴力、親子の情愛すら壊れていく世情が、まんと努力することが、失われて、出来なくなっている傾向が後を絶ちません。

怖いのは、未来にわたり、心身が蝕まれることです。原爆の怖さ、公害の怖さ、薬物の怖さ、食品の怖さなど、枚挙に暇が無いほど、生活空間は悪化の一途にたどり、私達の身体は、すでに蓄積された薬物に、影響されているのです。先日のテレビで観ましたのは、食品の防腐剤を摂取した身体、でした。この夏、暑いことから亡くなる方が少なからず増えたようですが、若くして亡くなった方は、お年を召した方々より体が痛まなかったそうです。何か、ということでは、登場した一つの仮説は、若い人は食生活で、



防腐剤の多量に入った食品を長い間、摂取することによる、影響が強いというものでした。強い話です。

舞踊は、素朴な身体を足がかりにしています。子供達の健全で美しい身体、きっちりとした生活習慣、開放された身体、統合されたテクニク、などは、長い時代にわたり継承されてきた文化です。舞踊の組織は力があるとは言えず、学校教育のなかに教科として舞踊を入れたらという運動も、かれこれ10年近く続けられていますが、なかなか進展が見られません。

効率で割り切つてはいけぬ情操教育が、現代に至るほど欠落し、人心の荒廃が起つたのではないのでしょうか。私達は、踊ることを通して情操を教え心豊かな子を育て、小さな子供達の瞳の中に、未来を導く一筋の光を見出し、生き生きとした舞う心を持っていきたいと思います。

私達は、行政を動かすような対外的なネットワークを持っていないわけではありませんが、個々で出来る活躍を通じて、このダンスの歴史の継承、舞踊の指導がもたらす豊かな情操の側面を、もう一度再確認し、明日に繋げたいと思います。

若い時代の舞踊生活をほとんど外国で過ごした私にとって、このコンクールはとて興味深い存在だ。毎年コンクールの知らせをどこかで見ると観に行つてみたいなど心が誘われる。今年は何か素敵な運が廻つて来たのか私のFAXに審査の依頼が入つてきた。うれしかった。コンクールの当日午前8時すぎに会場へ着いてしまう。劇場のドアは閉まっていた。「早すぎてしまったかなあ」しかし会場の付近には多勢の出演者がメークアップ、ウォームアップと忙しく動いている。この光景は私を揺さぶり、今年の審査に私も全力で参加しようと、舞踊への情熱が湧き上がる。第二部、ジュニア、第一部との部も出場者達の舞台での存在の仕方が真剣で美しい。スタイルはいろいろあつても動きと表現とが密接になりつ

評 モダン

舞踊家 ケイタケイ

若い時代の舞踊生活をほとんど外国で過ごした私にとって、このコンクールはとて興味深い存在だ。毎年コンクールの知らせをどこかで見ると観に行つてみたいなど心が誘われる。今年は何か素敵な運が廻つて来たのか私のFAXに審査の依頼が入つてきた。うれしかった。コンクールの当日午前8時すぎに会場へ着いてしまう。劇場のドアは閉まっていた。「早すぎてしまったかなあ」しかし会場の付近には多勢の出演者がメークアップ、ウォームアップと忙しく動いている。この光景は私を揺さぶり、今年の審査に私も全力で参加しようと、舞踊への情熱が湧き上がる。第二部、ジュニア、第一部との部も出場者達の舞台での存在の仕方が真剣で美しい。スタイルはいろいろあつても動きと表現とが密接になりつ

評 クラシック

舞踊評論家 伊地知優子

ここ数年あちこちで、かつて居なかつた生き物が大量に現れたり、異常繁殖したりといったニュースが相次ぎ、まさに温暖化に象徴される地球規模の異変が私達に価値観の転換を迫っています。国内の舞踊コンクールがここ数年でどんどん増え、今年も3つ増えて、わかつているだけで32を超えました。舞踊界の異常繁殖につき合つて何かの警鐘を鳴らしてでもいるのでしょうか？日本人のコンクール熱は今に始まったことではなく、国際コンクールに出始めた頃からのコンクールにも大量の日本人が押しか

評 モダン

舞踊家 ケイタケイ

ある。テクニクを際立たせるのではなく舞踊となつて心に届いてくる。運動で終わるのか、舞踊となり、芸術となつて心に届くのか、私の点数のポイントはかなり明確になつてきた。決選3日間の感動を持って参加した入賞者たちしあんなに真剣に踊りつづけた同じ舞台上でつくる入賞者たちはもう舞踊家ではなかつた。賞状をどう受け取るか、どう立っているのか、どう並ぶのか、どう礼をするのか、等々にかなり混乱している。プールの帰りに寄つたので、私と思わせるような服装の人もい

評 クラシック

舞踊評論家 伊地知優子

その意味で出場者全般の水準の高さは、老舗の信用ですと保ってきた大切な埼玉の宝物です。第40回を迎えた埼玉のコンクールは、さすがに長い経験がふまえた現場のテキパキとした合理的な運営が、審査員に余計な疲労を与えないこともなく、穏やかな心で審査に集中することが出来た。男性出場者の増加と技術の向上が最近の傾向ですが、各部門ともに、上位入賞者が複数のコンクールに出場する現象が強まっています。埼玉コンクールの権威「プラ

評 モダン

舞踊家 ケイタケイ

このコンクールが横へのつながりか何か舞踊家の人達の交流の役割を果たせるのでは？細長い日本列島のあちこちで日々懸命に踊っている人々に、指導者の先生方。そしてこの日、互いに分ち合合えるのだから。コンクールは賞という目標があるにしても、本当の意義はその為に集まってくる人々の交流の場だと思ふ。横へのつながりを若い世代が作つていってほしいと思うのだ。それにしても審査員たちが大きな客席空間をとつてしまつている。舞踊は観客の中にあつて観る芸術なのだから、もっと一般の人々に客席を開放して欲しいのでは。コンクールから数日経つた今日、今もコンクール出場者達の残してくれた残像が心にある。舞踊つて本当に素晴らしいなと思う。皆様ありがとうございました。

主催◎埼玉県舞踊協会 共催◎(財)さいたま市文化振興事業団
後援◎埼玉県/埼玉県議会/埼玉県教育委員会/埼玉県文化団体連合会
朝日新聞さいたま総局/埼玉新聞社/東京新聞さいたま支局
毎日新聞さいたま支局/読売新聞さいたま支局/テレビ埼玉/チャコットKK
(社)現代舞踊協会/(社)日本バレエ協会/(財)橋秋子記念財団

第40回 埼玉全国舞踊コンクール

モダンダンス・クラシックバレエ

7月24日～31日 さいたま市文化センター大ホール・小ホール

撮影/山口晴久

平成19年度 第40回埼玉全国舞踊コンクール 決選入賞者		
モダン		
第1位	橋秋子賞・県知事賞	荒木まなみ
第2位の1	県議会議長賞	畦地亜耶加
第2位の2	県教育長賞	野村真弓
第3位の1	県文化団体連合会長賞	富士奈津子
第3位の2	県文化団体連合会長賞	川井美奈子
第3位の3	県文化団体連合会長賞	林 芳美
朝日新聞社賞	小林 泉	
埼玉新聞社賞	山本 裕	
テレビ埼玉賞	斉藤友美恵	
東京新聞社賞	大竹千春	
毎日新聞社賞	高杉あかね	
読売新聞社賞	佐々木治子	
チャコット賞	伊東由里	
第1位	橋秋子賞・県知事賞	江上万絢
第2位の1	県議会議長賞	田中萌子
第2位の2	県教育長賞	南 帆乃佳
第3位の1	県文化団体連合会長賞	柴田菜実
第3位の2	県文化団体連合会長賞	安田一斗
第3位の3	県文化団体連合会長賞	森山結貴
朝日新聞社賞	小春香帆	
埼玉新聞社賞	佐藤深花	
テレビ埼玉賞	島田早矢香	
東京新聞社賞	たけだ有里	
毎日新聞社賞	高橋玲美	
読売新聞社賞	近藤 碧	
チャコット賞	稲毛大輔	
第1位	橋秋子賞・県知事賞	館 久瑠実
第2位の1	県議会議長賞	山之口理香子
第2位の2	県教育長賞	亀井峰幸
第3位の1	県文化団体連合会長賞	矢島 茜
第3位の2	県文化団体連合会長賞	大竹佑佳
第3位の3	県文化団体連合会長賞	中野真李
朝日新聞社賞	関 優歌	
埼玉新聞社賞	清水菜央	
テレビ埼玉賞	大野菜月	
東京新聞社賞	武内奈央	
毎日新聞社賞	服部千夏	
読売新聞社賞	佐藤花野・佐々木かおる	
チャコット賞	鎌和田玲奈・白井未希・上原沙也	
	浦 華菜子	
クラシック		
第1位	橋秋子賞・県知事賞	浅井友香
第2位の1	県議会議長賞	碓氷悠太
第2位の2	県教育長賞	岩渕美希
第3位の1	県文化団体連合会長賞	齊藤未歩
第3位の2	県文化団体連合会長賞	山崎有紗
第3位の3	県文化団体連合会長賞	今村美由起
朝日新聞社賞	新保綾那	
埼玉新聞社賞	高井将伍	
テレビ埼玉賞	高岡優貴	
東京新聞社賞	井上明香	
毎日新聞社賞	栗島悠衣	
読売新聞社賞	平尾麻実	
チャコット賞		
第1位	橋秋子賞・県知事賞	中ノ目知章
第2位の1	県議会議長賞	峯岸伽奈
第2位の2	県教育長賞	杉島知奈津
第3位の1	県文化団体連合会長賞	田島美月
第3位の2	県文化団体連合会長賞	中川 郁
第3位の3	県文化団体連合会長賞	高田 茜
朝日新聞社賞	宮川新大	
埼玉新聞社賞	五月女 遥	
テレビ埼玉賞	水谷美喜	
東京新聞社賞	伊藤謙吾	
毎日新聞社賞	大宮 瑛	
読売新聞社賞	山下実	
チャコット賞	石崎双葉	
第1位	橋秋子賞・県知事賞	福田汐里
第2位の1	県議会議長賞	江口絵梨
第2位の2	県教育長賞	福田侑香
第3位の1	県文化団体連合会長賞	山田 翔
第3位の2	県文化団体連合会長賞	種田智美
第3位の3	県文化団体連合会長賞	菅井円加
朝日新聞社賞	本田千陽	
埼玉新聞社賞	加藤三希央	
テレビ埼玉賞	宮崎真衣	
東京新聞社賞	堀沢悠子	
毎日新聞社賞	山本景登	
読売新聞社賞	北埜 菜	
チャコット賞	演 杏林咲	

- 協会員催し物のご案内
2007年10月～2008年4月
- 第11回 アキオキムラ遠藤彰子ダンスフォーラムコンサート 11/18(日) 14:00 埼玉会館大ホール
 - 第58回 間瀬バレエスタジオ発表会 11/23(金祝) 県立熊谷会館
 - 第40回 若松美黄・津田郁子自由ダンス公演「舞へまへへ蝸牛」有料 11/29(木) 19:30 大ホール
 - 彩の国さいたま芸術劇場 大ホール 04/8(8)5339410 若松美黄
 - 第10回 堀部明里バレエ研究所発表会 12/9(日) 16:00 埼玉会館大ホール
 - 04/8(6)6662203 堀部明里
 - 文月玲バレエスタジオ 第10回発表会 12/16(日) 16:00 県立熊谷会館
 - 04/8(5)2466582 文月 玲
 - 第4回 細川初枝モダンバレエ 12/23(日) 14:00 中央区月島社会教育会館ホール
 - 04/8(2)8033245 細川初枝
 - 石川須妹子舞踊公演「Voice」 08/1/9(水) 19:00 あうるすぽっと・東池袋
 - 03(3)9582402 石川須妹子
 - 藤井公・利子主宰 東京創作舞踊団 公演「ダンス・人間模様」 08/1/13(日) 16:00(14)祝 15:00 あうるすぽっと・東池袋
 - 04/8(8)8052789 藤井 公
 - カトレアバレエスタジオ 第16回発表会 08/4/6(日) さいたま市文化センター大ホール
 - 04/8(8)2552654 三浦利枝
 - 吉田久木子モダンバレエ研究所 第33回発表会 08/4/6(日) 15:00 クレアここのす
 - 04/8(5)410926 吉田久木子
 - アマンドウバレエスタジオコンサート 08/4/29(火祝) 板橋区立文化会館大ホール
 - 03(3)46096782 華 美保
 - 25周年記念マリエ&TKバレエ合同公演「コッペリア全幕」他 08/4/29(火祝) 川口総合文化センターリリアメインホール
 - 04/8(2)2221535 矢島麻律絵

第40回 埼玉全国舞踊コンクール 優勝者の声

コンクール撮影/山口晴久

モダン・1部成人の部



荒木まなみ

この度は、このような名誉ある賞を頂き、心より嬉しく思っております。多くの方々に支えられ、今の自分があるという事を忘れずに、感謝の心を持って今後も頑張っていきたいと思っております。本当に有難うございました。

モダン・ジュニアの部



江上万鶴

今回のこの賞を頂く事が出来たのも、ずっとご指導下さった井上先生、家族、多くの方々のお陰だと感謝しています。この賞に満足する事なく、これからも努力していきたいと思っております。有難うございました。

モダン・2部児童の部



舘久瑠実

今回はとても素晴らしい賞を頂き、有難うございます。舞台上で踊っている時間がとても幸せに感じました。指導して下さった先生や協力してくれた方に感謝しています。これからもいい踊りを目指して頑張ります。

バレエ・1部成人の部



浅井友香

素晴らしい賞を頂く事ができ、本当に嬉しく思います。温かくご指導して下さいました先生にはとても感謝しています。これからも楽しんで踊る事を大切にしながら、表現する事も学んでいきたいと思っております。

バレエ・ジュニアの部



中ノ目知章

今回このような名誉ある賞を頂いた事を大変光栄に思います。また、今後の自分に大きな刺激を与えられたのではないのでしょうか。まだまだ山積みな課題を探りながら自分自身の踊りを築いていきたいです。

バレエ・2部児童の部



福田汐里

このような賞を頂けて本当に嬉しいです。最初に番号を呼ばれてとてもビックリしました。1位を頂いたのは教えて下さった先生、友達、家族のおかげだと思います。これからも感謝の気持ちを忘れずに練習していきます。

バレエ・2部児童の部



「ちいさいあし」
松崎えり 作・演

衣のこころ

藤井利子

埼玉全国舞踊コンクールの二日目、大岩先生がスポンの継ぎ当てを見せて下さり、佐多先生が少女の頃から継ぎをするのが大好きだったと云うお話を聞きながら、私は母の形見の着物を思い出していた。明治31年生まれ母が96歳で逝った後、着物を整理していた私は、織り目毎に、一糸一糸目立たぬ様に根をつめて継ぎ当てがしてあるのを見て、しばらく目を放す事が出来ず、涙が込み上げて仕方がなかった。戦後の食料難時代、骨董品と晴れ着、余所行きのほとんどがお米に化けてしまっ、明治・大正の古い着物は数枚残されただけだったが、永い年月の間には、幾度洗い張りをして縫い直した事であろうか。一枚の着物をこれ程愛し、大切にしながら一生を終った芯の通った誠心とその生きざまは、脆い私の精神を揺さぶった。他の物は親族にお持ち戴いたが、継ぎのある着物又は手放せなくて、私が引き取らせていただいた。今でも娘たちの暖かさにふれる度、産着に始まり、子供の成長に合わせて、いつも手編みのセーターやワンピースを着せ続けてくれた母が、そっとそのぬくもりを娘たちの心に置いて行ってくれたのだと思えて来る。七五三の晴れ着が掛け布団になっていたり、子供用座布団になっていたり、端布でお手玉が作られていたり、昔の主婦は生活の中にこうした楽しみを見つけて、豊かな心を持ち続ける事が出来たのかもしれない。最近は流行の流れが速く、「これは一生ものにしよう」と云う思いで服を買入しても、翌年には又新しい服を買ってしまう私は、心の豊かさには程遠い、未成熟な自分を感じて恥入るばかりだ。真夏の埼玉全国舞踊コンクールに審査に来て下さる評論家の先生方は、汗をふきふき往復は上衣を手を持っておられても、審査の時は上衣を着て礼をきちんととって下さっている。「衿を正して」と云う気持ちが伝わって来て、主催者側として有難く、頭が下がる思いである。相手方への礼や、配慮を忘れぬ様にしなくては、と自分自身への戒めにもさせていただいている。衣にも心がある事を思い一筆させていただきます。

STAGE 1

撮影/池上直哉

第34回ステージワン
彩の国さいたま芸術劇場小ホール
2007年9月8日・9日

「夏秋草図」
若野信子 作

関口淳子

上田仁美

評 理事 藤井利子
高校以上が参加出来るステージ1は、年々モダンも多彩で、今を精一杯生きる姿勢が感じられ、胸が熱くなる公演です。御指名により、私の感想を記します。
若い年代の出演者と思われる作品から「ひまわり」伸びやかな身体を生かしたダンスで、ダンサーが素敵に見えて来る。「この世の限り」切り取られたミュージカルを築き、若者の姿が微笑ましい。「麦わら帽子と扇風機」今年の猛暑が再来した様な気分が引き込まれた作品。若いパワーが作品をしつかり創り上げていた。「今宵、満ちゆく月の下」訓練された動きで最後まで見せてしまふ群舞の素晴らしさが作品の芯にすえられている。「ゴッホの風」縦横の成東でソロダンサーとして一段と輝いていて印象深い。「B」一流大学から一流企業へとという生き方への疑問が若者達に広がり、時代が変わりつつある今日 It is the second person anyway. という副題で、決して出過ぎずありのままの個を提示するダンス作品に私は刺激を受けた。「引かれる島訓練された身体とダンスは美しく、引かれる」という振りもつと鮮明に出ると、作品ごと楽しめたと思ふと「残念」「あつちこつち」どっちも「精一杯動きに挑戦している」等身大の今を素直に出している楽しい。「スクエア」夢捜しの5人がこ

れからも夢を追い続けられます様に、共に祈りたい気分になって微笑ましい。次にダンサーの域に挑戦した。窓が開かれているのは、闘争の一つの事に多様な心の動きが盛り込まれているが、しつかりキヤッチした表現力を楽しんだ。次に創作に挑戦した作品「MOTHER」いたいた事、スババと主張する作風天晴れた。「仰ぐ」素朴な生き方を希求する一陣のさわやかな風を感じた。仮想「EDEN」花の小道真の目と見られなくなった。花の小道真の目とその中に埋もれて顔を上げたラストの演出が素晴らしい。ダンスも存在感が一回り大きくなった。「蜘蛛の糸」糸は舞の音、お釈迦様とも白蓮とも思える弾き手と、蜘蛛のダンスのコラボレーション。間が素晴らしい。楽しい仕上がりであった。「パティナー」初日はコントラストのかかわりと落ちのラストが素敵。二日目は一ヶ所に留まる事の出来ない人間を思いながらダンスを楽しんだ。「この道あつちこつち」近な空間でも通用するダンス空間を身につけているダンサー。風景画を見ている感覚で作品を見ている。

ジュニアバレエフェスタ

2007年10月21日(日)
12:00~13:00
さいたま市文化センターホール
東側広場(噴水前広場)
(雨天時は1階ロビー 14:00~15:00)

《出演》
山中有子モダンバレエスタジオ
和泉伽南留バレエスタジオ
カヨ イチカワ ダンススタジオ
中村友美・上田仁美モダンバレエ教室
藤井 公・利子・高野尚美 舞踊研究所
細川初枝モダンバレエスタジオ
さいたまバレエアカデミー
バレエサークル アラベスク&ビルエット
ティアラ バレエスタジオ
ワイズ ダンスカンパニー

いて同じ様な内容で創っている。こだわりを持つ事で作品はより深く成長していくと思うので挑戦し続ける生き方もある。時間は未だたっぷりあるのだから、「夏の始末」霊か妖怪か？気配の者達にスポットを当てた異色作。楽しめた。特別出演「夏秋草図」雷、虫の音と、屏風絵の中からダンサーが浮上して踊る。醍醐味は一人の異質ダンサーの魅力にあり、楽しき鑑賞(若野信子作、関口淳子、上田仁美演)「ちいさいあし」は軽い日常的な動きの始めとラストに、行為的動きが挿入されていて、キラリと作者の感性がみえる。決して誇張されずダンス呼吸の流れの中に無意識風に入れられている。三回のステージにそれぞれ変化がつけられていて楽しめた。動きの流れ方が美しく、コンテンプラリー。(作・演松崎えり)皆様の熱演が今を輝いたステージ1ありがとうございました。

伸びゆく彩の国さいたまの子どもたちによる 第41回 バレエ・モダンダンスフェスティバル

(会場) 川口 リリアメインホール (日時) 2008年3月8日(土)・9日(日)
A7ロ 3/8 (土) 開場16:30 開演17:00 予定
第40回埼玉全国舞踊コンクール上位入賞者披露(2部児童)
【モ】川名今朝美モダンバレエスタジオ
【ク】大岩静江バレエスタジオ
【モ】Y'sバレエスタジオ(山口弓貴子)
【ク】深田・島村バレエスタジオ
【モ】窪内綱子モダンバレエ研究所
【モ】吉田久木子モダンバレエ研究所
【ク】山本敦子バレエスタジオ
【モ】マヤバレエスタジオ(原島マヤ)
B7ロ 3/9 (日) 開場14:30 開演15:00 予定
第40回埼玉全国舞踊コンクール上位入賞者披露(ジュニア部)
【モ】新野正代舞踊研究所
【モ】谷 乃梨絵モダンダンススタジオ
【ク】穴水かおりバレエスタジオ
【モ】和加舞踊研究所(小林和加枝)
【ク】和泉伽南留バレエスタジオ
【モ】細川初枝モダンバレエスタジオ
【ク】井上美代子バレエスタジオ
【モ】山崎麻矢モダンバレエ研究所(新座・飯能教室)
【ク】山路瑠美子バレエ研究所(新座・飯能教室)
【モ】中村友美・上田仁美モダンバレエ

ダンスセッション ダンスに浸る一日

《会場》彩の国さいたま芸術劇場(大小ホールその他のスペースを利用した大イベント!!)
《日時》2008年3月1日(土)~2日(日)
《内容》埼玉舞踊協会・埼玉県文化振興財団主催の新企画「ダンスに浸る一日」公演、講習会、シンポジウム、舞踊学会定例研究会、ショーケース、実験劇場、メンター指導、コレオグラファーの目など、二日にわたりダンスの色々な側面に触れるもの。
☆中国から、北京雷動天下現代舞踊団を招聘、埼玉県舞踊協会では、バレエ「パキータ」振付:佐藤良寛、主演:宮内真理子、貞松正一郎。また現代舞踊は、上田仁美が作品を発表。
☆実験劇場では、大岩静江・松崎えり、時田ひとし、手島かつこ、新野正代が創作し、鈴木晶(法政大学教授)が講演する等、朝から夜まで、ダンスに浸る一日を体験して下さい!
※お問い合わせは協会事務局まで、または協会ホームページをご確認ください。

●お詫び
第41回埼玉舞踊協会総会資料5頁その他の行事(才)埼玉県文化振興会議協賛に野呂修平氏の名前が抜けておりました。お司会でご御活躍いただきました。お詫び申し上げます。
●協会員報告
おめでとございます
アキコカンダ氏
'07年4月29日 春の叙勲で「旭日小綬章」を受章されました
●編集後記
世の中の情勢も大きな変化を遂げる中、舞踊協会もいろいろ変わるうとしていくところ。役員の方々は、たくさんの仕事をいただいで嬉しい悲鳴を上げています。どうぞ、会員の皆様いつでも協力宜しくお願いいたします。
広報部 山本敦子